

花しょうぶ

Vol.29
2013.SPRING



男女共同参画

～どうする？結婚～

「男性 47%、女性 35%が・・・」

皆さんご存じですか？

30代前半の男性 47%、女性 35%が未婚です。*1

適齢期の男性の約半分が未婚という近年、もはや「結婚していない」というのは一般的なことなのかもしれません。しかし、未婚や晩婚化は少子化を招く大きな原因とされ、国は少子化対策としてさまざまな政策を打ち出してきています。このような現状をふまえ、花しょうぶでは、未婚の男女（30代～40代）に結婚に関するアンケートを行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。 *1 2010年国勢調査から



〈イラスト さくらいちか〉

★結婚相手に望む条件は？

男性 → 女性へ

- ♣ 価値観が合うこと (40代)
- ♣ 優しさ、ですかね。(30代)
- ♣ 経済観念も含めて、価値観の合う人 (30代)
- ♣ 自分には無いものを持っている人 (30代)
- ♣ **経済力 (30代)**
- ♣ 家に帰った時に癒されること (30代)
- ♣ 家庭的なこと (40代)
- ♣ 自立していて、人に頼らなくても生きていけるような人 (40代)

女性 → 男性へ

- ♥ 自分のことを大事にしてくれる (30代)
- ♥ **経済力があること (30代)**
- ♥ 食べ物の好き嫌いの少ない人 (30代)
- ♥ 家事を分担してくれる人 (40代)
- ♥ 年齢相応の考え方、振る舞いができること (40代)
- ♥ 一方的にしゃべらず、会話のキャッチボールができる人 (30代)
- ♥ 家事ができるにこしたことはない (30代)
- ♥ 思いやりがあり、自分を理解してくれる人 (30代)

★結婚する、しないに関わらず、生涯のパートナーは必要だと思いますか？

- ♣ 絶対必要！何かに共感できる部分や、最後まで寄り添う相手は欲しいです。(30代、男性)
- ♣ いいえ。無理に一緒になる必要がない (30代、男性)
- ♥ 必要。一人で生きていくのはさびしい。良き理解者が近くにいてくれると、心の支えになるし、人生も楽しくなると思う (30代、女性)
- ♣ 一人は楽だけれど、同じ時間をパートナーと過ごしていけるのが、幸せかな、とおもいます。(30代、男性)
- ♥ 特に必要性を感じない (40代、女性)
- ♥ パートナーか、友人が必要だと思う (40代、女性)
- ♣ 必要。自分が老いた時に、さびしいと思う (30代、男性)

★結婚する、しないに関わらず、子どもは欲しいと思いますか？



欲しい!

育兒を通して、自分が成長しそうだから。(30代、女性)

欲しい(欲しかった?)子育てを通じて、自分が成長できると思う。子どもがいることで、地域、社会との関わりも増える。(40代、女性)

自分が生きた証拠を遺していきたい。(30代、男性)

子どもを育てるということを経験したいから。(30代、女性)

絶対に欲しいです。子どもが好きなので。(30代、男性)

子どもを育てることで、親が自分をどのように大切に育ててくれたのか、人を育てることの大変さと大切さを理解したいとともに、自分も成長したいから。(30代、女性)

親に孫を見せてあげたい。(30代、男性)

自分が両親から大切にしてもらった分、子どもも大事に育てたい。(30代、女性)

どちらでもよい。(30代、男性)

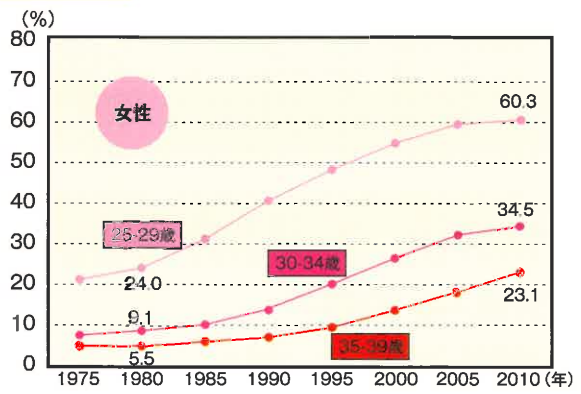
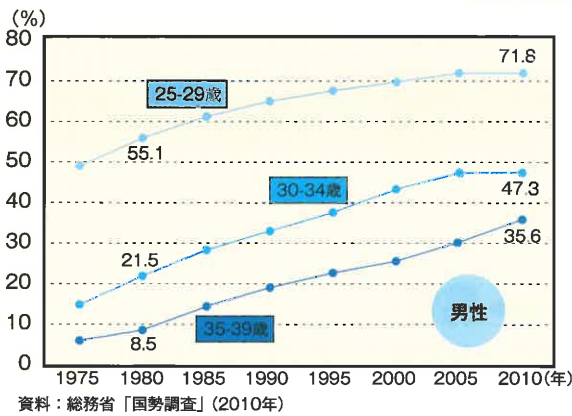
欲しくない。お金がかかるから。(30代、男性)

欲しくない、微妙...

欲しいとは思わない。今からだと、体力がもたないから。(40代、女性)

微妙。いたら、楽しいかな、とは思う。(40代、男性)

年齢別未婚率の推移



未婚の背景には、男女とも非正規雇用者の増加など、厳しい社会情勢が影響しているように考えられます。以前と比べて、結婚に対する考え方も多様になり、求める条件もさまざま。結果として、結婚に慎重になっているのかもしれませんが。将来のパートナーや、子どもは欲しいと考える答えも多く「いずれは結婚したい」という気持ちがあるようです。結婚や子育てに不安のない社会づくりがすすんでいくと良いですね。



お見合い結婚が当たり前の時代から一転、今や恋愛至上主義の世の中。案外恋愛は自由にするけど、結婚は別、と考える人が多く「結婚に理由がある時代の到来」との記事を読んだことがあります。混沌とする社会情勢、経済面での不安・確かに、エイヤッ!と少し頑張らなければ結婚の決意はできない時代です。しかし、先達から言わせていただくと、結婚ほど自分を成長させる修行はありません。どうか、結婚という航海に漕ぎ出していただきたい。しんどいこと、楽しいこともひっくるめて、そこに何ががあるのか見るだけでも意味があると思います。(桜井千夏)



百人いれば百通りの結婚生活があるでしょうし、「結婚観」だってきっと千差万別。ただ、どんな結婚、どんな人生だとしても、自分で選び取った成果です。自分の選択に責任を持つという気持ちが、困難を乗り越える大きな助けとなるのだと思います。幸せ、不幸せだって自分の決めること。どの道を選んでも平坦ではないけれど、石ころをどかしたり、花を植えたり、歌をうたいながら歩いていける自分でありたいです。(高橋淑子)

《編集委員》 佐藤忠光 桜井千夏 新城真弓 高橋淑子

この情報紙は市役所市民協働課、市役所総合案内、サンファールサテライトオフィス、図書館、最寄の地区市民センターなどにあります。よりよい情報発信ができるように、市民の皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。今後どうぞ愛読どうぞよろしくお願い致します。

- ・花しょうぶ編集委員を募集します。詳細は広報くわな 4月 15日号をご覧ください。
- ・男女共同参画をテーマとした「出前トーク」を実施しています。詳しくは市民協働課までお問合せ下さい。

【発行】 桑名市市民安全部市民協働課 〒511-8601 桑名市中央町二丁目 37 番地
Tel. 0594(24)1413 Fax 0594(24)1735 Eメール ccollabo@city.kuwana.lg.jp